

科目ナンバリング		U-LAS05 10007 LJ23									
授業科目名 <英訳>		人文地理学 Human Geography				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
テーマ：人文地理学を学ぶ。 人文地理学を学ぶことで、私たちの生きている世界はどのように見えてくるのだろうか。地理学の基本的な概念の紹介と、それを用いた具体的な事例の解釈を通して、受講生の地理学的想像力を培うことをめざす。											
[到達目標]											
人文地理学の基本的な方法を理解する。 地理学的創造力を用いて、生活と研究を活性化できるようになる。											
[授業計画と内容]											
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。 (1) 地理学：地理学的想像力とは？ (2) 分布：事物のひろがりのどこに注目するのか？ (3) 地域：私たちにとって地域とは？ (4) グローバル化：それでも「地理が問題」とは？ (5) 距離：暮らしにとって距離の果たす役割とは？ (6) 立地：なぜそこにあるのか？ (7) 中心地：多様な中心地を把握するとは？ (8) 都市：都市を面として捉えるとは？ (9) 山村：周縁で暮らすとは？ (10) 作図：地図を描くために知っておくこととは？ (11) 読図：地形図で見知った場所はどうかわる？ (12) 景観：景観をいかにとらえるか？ (13) 環境：環境を人間はいかに考えるか？											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。 授業への参加度は、授業終了時のミニッツペーパー（5%）と授業後2週間以内に提出する課題レポート（15%）の提出によって測る。											
[教科書]											
使用しない											
-----人文地理学(2)へ続く↓↓↓-----											

人文地理学(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは3回の提出を標準とする。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うことになります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部